

製品名: TFAP2A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81824**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ELISA,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 48kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | TFAP2A |
| 別名 | AP-2; BOFS; AP2TF; TFAP2; AP-2alpha |
| 遺伝子 ID | 7020.0 |
| SwissProt ID | P05549 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト TFAP2A (AA: 105-211) の精製された組み換え断片。 |

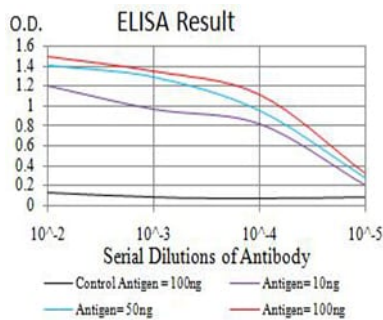
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、コンセンサス配列 5'-GCCNNNGGC-3'に結合する転写因子です。コードされるタンパク質は、ホモ二量体、または類似のファミリーメンバーとヘテロ二量体として機能します。このタンパク質は、一部の遺伝子の転

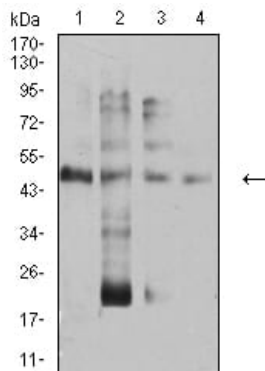
写を活性化する一方で、他の遺伝子の転写を阻害します。この遺伝子の欠陥は、鰓眼顔面症候群（BOFS）の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。

研究分野

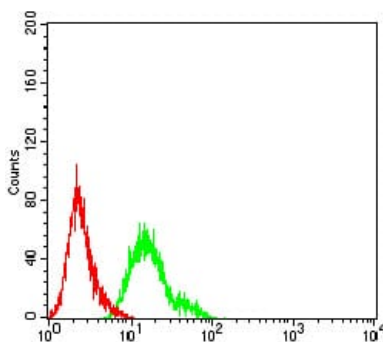
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Hela (1)、PANC-1 (2)、HEK293 (3)、および RAW267.4 (4) 細胞溶解物に対する TFAP2A マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



TFAP2A マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。